

第3回寝屋川市放課後子ども総合プラン運営委員会議事録

1 日時 平成29年11月24日（金）午後3時から午後4時30分

2 場所 議会棟4階 第1委員会室

3 参加者

(1)出席委員（9名）

杉本委員長・屋敷委員・坂本委員・辻本（嘉）委員・葛城委員
吉岡委員・北西委員・青木委員・赤堀委員

(2)欠席委員（5名）

辻本（通）副委員長・福田委員・川北委員・澤井委員・坂本委員
事務局（5名）
川原課長・向井係長・南畑係長・山田支援員・高岡支援員

4 次第

(1) 平成28年度モデル校 事業別回数・参加数について

(2) 平成28年度モデル校 委託料・報償費について

5 会議内容

委員：プログラムは子どもの意見をきいて開催しているのか。また他校と情報共有しているのか。

事務局：実行委員の計画の下プログラムを開催している。今年度よりコーディネーター交流会を行うので、その中で今後情報共有していきたい。

委員：第五小学校の学習が回数参加人数ともに多くなっているが学年の限定をしているのか。また安全管理員はだれが担っているのか

事務局：4年生対象である。指導者としては、教育実習生などのボランティアをお願いしていると聞いている。

委員：交流会を行ったと聞いたが、今後も続けていってもらいたい。

事務局：来年24校になり交流会の形は変わっていくが続けていく。

委員：校庭開放日は告知しているのか。また、プログラムは学年限定があり参加できない事もあるので、子どもの参加したプログラム等の意見を取り入れてはどうか。

事務局：実行委員会がプログラムを与えるだけではなく、いずれは子どもの意見や保護者の要望をとり入れたプログラムを行っていきたい。

委員長：子ども達も受け身だけではなく、自分たちで作れる・学べる場になればよい。

委員：地域協働協議会などと連携して実施しているのか。

事務局：連携して実施したプログラムの為、参加人数も多くなっている。

委員長：各実行委員会での再検討等を行っているのか。プログラムや参加人数の検討をすることで形骸化してしまうのではないか。交流会の中で担うこともできるので検討していただきたい。

委員：実行委員会のメンバーは毎年変わっていくところが多いので、難しいかもしれない。

委員：小学校児童数の違いもあるので実行委員会ごとに委託料の違いも検討していかなければならない。

事務局：24校実施となり事業内容なども検討し、委託金についても議論していく必要がある。

委員長：プログラムの実施時間が高学年の授業終了から始まるということで、低学年の放課後プログラムの在り方、時間の調整等も考えていかなければならない。

事務局：事業を行う上でプログラムの周知を行っていく事と保護者には参加するという意思表示を行ってもらえるようにする。

委員：外部講師の活用が必要。行政としては、どんな人材がいてプログラムを実施してくれるのか調べて実行委員会に提示することが大切ではないか。